

淑徳大学 大学院 2025

看護学研究科 看護学専攻



SHUKUTOKU
淑徳大学

1号館

本大学院は、建学の理念に則り、
深奥なる学術の理論及び応用を研究教授し、
また研究能力を養い、
もって人類の文化と福祉の増進に
貢献することを目的としています。

教育 研究目標

淑徳大学の建学の精神に基づき、
人々の健康と安寧のため、地域社会
の保健・医療・福祉の向上を目的と
し、看護に関する実践や教育・研究
活動に、高い理想と広い視野、そし
て深い洞察力を備えて携わり、保健
・医療・福祉の発展に寄与する人材
を養成します。

また、看護学に関する専門的な知識
を修得し、その学びを社会的・学問
的要請に応じて適切に適用し、展開
する研究能力を培い、これらを基盤
として、地域社会の保健・医療・福
祉の発展に資する実践的な運用力を
養うことを教育目標とします。

人材養成の目的

1 研究職や教育職をめざす人材の育成

看護研究の基礎的知識を持ち、看護現象を適切な研究方法に基づいて科学的に探究し、創造的に新たな看護実践の開発を行い、看護基礎教育を担うことのできる、優れた教育能力と科学的な研究能力を備えた看護研究者・教育者を養成します。

2 実践現場で活躍する指導的看護職者の養成

臨床実践の中で抱いた問題意識や実践の根拠について、科学的に探究し、その成果を看護現場に還元することによって、より良い看護実践の開発に貢献できる指導的看護職者を養成します。

3 看護管理者の養成

看護管理に関する専門的な知識を身につけ、それらを駆使して組織運営を実践し、看護職者間においてリーダーシップを発揮するとともに、多職種と積極的に連携・協働することができる研究能力と教育能力を備え、高度なマネジメント能力を持つ看護管理者を養成します。

アドミッションポリシー Admission Policy

- 1 看護学分野に関するより高度な専門的知識と応用的能力を修得するという明確な目標を持ち、看護学分野に対する強い興味と関心並びに学修意欲を有している。
- 2 看護学分野の基礎的な知識及び基本的な技術と態度を学士課程教育等で修得し、高度な研究・実践能力を開発するための基盤を身に付けている。
- 3 より深く、広い視野から研究課題を追究していくための看護学の基本的視点を持ち、物事を多面的かつ論理的に考察し、適切に判断することができる。
- 4 地域社会の保健・医療・福祉の発展及び人材育成の一翼を担おうとする明確な目標を持ち、自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達することができ、看護専門職としての資質・適性に優れている。

保健・医療・福祉の実践をいかした発展的な学修をめざす

少子高齢化が進み、複雑化する現代の医療において、人々の様々な健康ニーズに対応する保健医療専門職としての看護職に寄せられる期待は大きくなっています。

本学看護学研究科は2016年に開設され、着実に修了生を輩出してきました。

「看護管理者として自分はどうあるべきなのか考えたい」「看護師としての活動をカタチにしたい」「経験だけではなく科学的根拠を持ちたい」「自分の看護を振り返りたい」など、実践の中で漠然とした問題意識を持って入学してきた方々が、問題意識ととことん向き合い、Research questionを明確にし、看護実践現場に活用できる修士論文を作成しております。

本学大学院は、建学の理念に則り、深奥なる学術の理論および応用を教授し、研究能力を養い、もって人類の文化と福祉の増進に貢献することを目的として設立されました。本研究科は、じっくり物事を考える時間と環境を提供します。個々の院生に応じたきめ細かな研究指導の他、奨学金、社会人大学院生のための3年制長期コースなどを設け、大学院生の研究活動を全面的にサポートしています。遠方から修学できるように、オンラインでの授業や研究指導を積極的に活用し、大学院生の状況に合わせて臨機応変に対応しています。

2023年度からは、医療機関と本学大学院看護学研究科との連携と交流を推進し、双方が有する資源を最大限に生かすことで、教育・研究活動の振興と高度の看護に関する専門職の人材養成、健康福祉の増進をめざす取り組みを開始しました。本学大学院看護学研究科と連携協定を締結した病院からの入学希望者には指定病院入試を適用します。

本学には総合福祉研究科との合同授業もあります。より広い視野を持ち、深く洞察できる力を養いながら、看護の実践現場に活かせる研究と一緒に取り組んでみませんか。



岩崎 紀久子

Kikuko Iwasaki
淑徳大学大学院
看護学研究科長
看護栄養学部看護学科
成人看護学教授

看護学研究科 ゼミ紹介

成人看護学



成人看護学では、理論などを用いて、臨床で起きる現象を様々な視点でとらえなおし、看護の可能性と意味を

考えることができるようにゼミを行っています。「臨床での現象のとらえなおし」を行うことで、新たな気づきを得て、明らかにすべき疑問が浮かび上がることもあり、実践知と研究の往還性を維持した研究テーマの絞り込みにつながります。また、論文をクリティークしながら日々の看護で実践したこと、感じたことを言語化することは、自身の看護を見つめる機会にもなります。成人看護領域のゼミでは複数の教員がかかわり、研究の基盤となる考え方を学びつつ、より実践的な視点で研究に取り組めるようにサポートしています。

地域看護学・公衆衛生看護学

「人生100年時代」という言葉を、一度は目にしたこと、耳にしたことがあるのではないのでしょうか。世界中から長寿が目目されている日本ですが、そこに暮らす誰もがハッピーであるためには、何が必要なのでしょうか。何をすれば良いのでしょうか。

私たちの研究室は、保健、医療、福祉、教育、心理等の専門職の実践に基づく経験的根拠と、研究による科学的根拠の両側面から、コミュニティ・エンパワメントに向けた仕組みづくり、街づくりを探求しています。その街にただでハッピーになれる、そんな街づくり研究と一緒に取り組まいませんか？



研究室ホームページ

<https://www.community-em.net/>



Alumni 在学生・修了生の声 voice

在学生の声



中村 真也さん
(修士課程2年生)

私は今まで病棟看護師として働いていましたが、終末期にある患者さんとの関わりの中で倫理的な葛藤を感じていました。しかし、臨床では時間に追われ、自分の看護を見つめ直す時間や気持ちの余裕がありませんでした。業務としての看護を提供する毎日。私は自分の看護を見つめ直す機会を設けたいと感じ、

大学院への進学を決めました。大学院では、ゼミでのディスカッションや看護理論を用いた分析を通して、自身の修士論文のテーマについて追求しながら充実した毎日を送っています。

在学生の声



石毛 紗智さん
(修士課程1年生)

私は関東で看護師として働き、北海道へ移住しました。地方都市では資源と人材が限られていることが大きな課題であると実感し、地域の問題解決はそこに暮らすものがしなければいけないという思いになりました。私の住む地域には看護系大学院がなく、困っていたところ、淑徳大学大学院はオンラインで学ぶ

ことができること知り学ぶことを決めました。速いですが先生も仲間も身近に感じられ、意見交換もオンラインで活発に楽しんでいます。

修了生の声



2022年度修了生
榎木野 裕子さん
(現職)
帝京大学
ちば総合
医療センター
教育看護師長

私が大学院に進学した動機は、上司の勧めと産科混合病棟での管理者として産科混合病棟の助産師が母性看護に頑張っていること、混合病棟で働く助産師のモチベーションや助産に対する思いを明らかにしたかったからです。コロナ禍での3年間の大学院の研究活動には職場の多大な協力があり乗り切ることができました。少子高齢

化の影響を受け産科病床の劇的な変化の中でも産科混合病棟の助産師が肯定的に状況を捉え、職業的アイデンティティを形成していることが確認できました。そして現在、教育看護師長と産科混合病棟の管理者として働いています。

修了生の声



2018年度修了生
穴水 千尋さん
(現職)
淑徳大学
看護栄養学部
看護学科 助教

大学院在学中は大学病院の非常勤看護師として働きながら、ティーチングアシスタントとして本学の学生の教育に携わる機会をいただきました。この2年間は臨床現場と教育現場を俯瞰的にとらえる機会が多くあり、これまでの看護師としての経験を内省する時間になりました。現在は本学看護学科の教員として看護基礎教育に携わっています。臨床での経験を大切に、実践のなかで抱いた問題意識やケアの根拠について探究し続けています。経験も浅く未熟ですが、臨床現場と教育現場を繋ぐ役割を担っていきたいと考え、日々学生さんと関わっています。



淑徳大学大学院

看護学研究科看護学専攻 修士課程

〒260-8703 千葉市中央区仁戸名町673 淑徳大学千葉第二キャンパス TEL 043-305-1881

【JR千葉駅までのアクセス】

東京から ▶ JR横須賀線・総武線快速で…39分

横浜から ▶ JR横須賀線・総武線快速で…71分

- JR千葉駅よりバス(東口2番のりば)「鎌取駅」行きにて約20分、「ジェイコー千葉病院」下車
- 京成電鉄大森台駅より徒歩18分(千葉東病院内経由)
- JR蘇我駅より、無料のスクールバスで約15分

Professor 教員紹介

(2024年6月現在)

看護学研究科教員

基礎看護学分野	坂下 貴子(教授) 長坂 育代(准教授) 牧野 美幸(准教授)
看護管理学分野	茂野 香おる(教授)
成人看護学分野	岩崎 紀久子(教授) 佐佐木 智絵(教授) 井上 菜穂美(准教授) 坂井 志織(准教授)
老年看護学分野	永田 文子(准教授) 岡本 あゆみ(准教授)
小児看護学分野	小川 純子(教授) 伊藤 奈津子(准教授)
母性看護学分野	篠原 良子(教授)
地域看護学・公衆衛生看護学分野	公衆衛生看護学 渡邊 多恵子(教授) 精神看護学 原田 浩二(准教授)
医学分野	林 雅晴(教授)

※他研究科の教員が担当する科目もあります。
各担当教員の科目や看護学研究科の教育内容、入試案内などの情報は下記URLまたはQRコードからご確認ください。



<https://www.shukutoku.ac.jp/academics/kango/>

入試概要

専攻・課程	修業年限	募集人員	試験区分(選抜方式)	出願期間(必着)	試験日	合格発表日
看護学専攻 修士課程	2年	5名	第1回 一般・推薦 指定法人	2024年9月13日(金) ~9月20日(金)	2024年9月28日(土)	2024年10月1日(火)
			第2回 一般・推薦 指定法人	2025年1月10日(金) ~1月17日(金)	2025年1月25日(土)	2025年1月28日(火)
			第3回 一般・推薦 指定法人	2025年2月14日(金) ~2月21日(金)	2025年3月1日(土)	2025年3月4日(火)

※一般入試、推薦入試、指定法人入試ともに、出願に先立ち事前の面談・相談があります。
※入学試験は、淑徳大学千葉第二キャンパス(千葉県中央区仁戸名町673)で実施(集合時間、試験室等は、受験票により案内)します。
※看護系の短期大学、専修学校、各種学校等を卒業・修了された方は、入学資格認定審査を受ける必要があります。出願を希望される方はお問い合わせください。

1 学際融合による 講義を開講



総合福祉研究科とのコラボレーションによる授業を開講しています。総合福祉研究科学生とのディスカッションによる学際融合の知見を見いだすことをめざします。

2 「認定看護管理者」 の教育機関

公益財団法人日本看護協会が認定する「認定看護管理者」の資格を取得できる、看護管理学分野の科目を開講しています。

3 3年制 長期コース併設

修士課程は本来2年制ですが、3年間の長期コースを併設しています。3年制長期コースでは、2年分の学費を3年間で分割納入することができます。

4 オンライン・ハイブリッド型 授業の展開



大学院生専用の共同研究室を設けて、研究活動の環境を整えています。また、オンライン・ハイブリッド型の授業や研究指導を積極的に取り入れ遠方にお住まいの方も働きながら学ぶ環境が整っています。

奨学金制度

5

本学奨学金

- 特別給付奨学金
模範生たるにふさわしい学生に対し、年度内の授業料相当額を給付。
- 一般給付奨学金
人物、学業成績が優秀で、学費の納入が困難とみなされる学生に、年度内の授業料の半額(若しくは1/4)を限度に給付。
- 貸与奨学金
人物、学業成績が優秀で、学費の納入が困難とみなされる学生に、年度内の授業料の半額を限度に貸与。修了後10年分割で返済(無利息)。

日本学生支援機構(JASSO)の貸与奨学金

- 第一種(無利息) ■ 第二種(利息付き)

Topics

トピックス

医療機関との 連携協定

6

看護学研究科と医療機関との連携と交流を図るために連携協定を結んでいます。連携機関からの受験生は、指定法人入試として試験が一部免除されます。
協定機関：船橋市立医療センター、総合病院 土浦協同病院、国立病院機構 千葉東病院、JCHO千葉病院(2024年6月現在)

淑徳大学大学院看護学 研究科に期待すること

船橋市立医療センター 副院長兼看護局長 武村 妙子

看護職は人々の多様化するニーズに応え、その役割を發揮するため生涯学び続ける必要があります。臨床での経験学習にとどまらず大学院看護学研究科で学ぶ機会を支援することで、自身の描くキャリア形成に繋げてほしいと思います。



総合病院 土浦協同病院 副院長兼看護部長 宮本 佳代子

新年度より、淑徳大学大学院看護学研究科と当施設は連携協定を結ばせていただきました。この機会に日々の実践の中での疑問や問題意識を探究し、看護の質向上と自身のキャリアアップにつなげてほしいと願っております。



国立病院機構 千葉東病院 看護部長 池谷 みちこ

淑徳大学大学院看護学研究科と当院は、連携協定を結ばせていただいております。働きながら学ぶことができる環境は大変魅力的です。看護現場に山積する課題について、社会や地域との関係の中で考えることのできる人材の養成に期待を寄せています。



独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院(JCHO千葉病院) 看護部長 白井 正枝

大学との連携協定は仕事と学習を両立する場の提供であり、これまでの経験を本格的に検証することで、看護師としての誇りと自信に繋げてほしいと願っています。今後の医療看護が発展するためにご支援をお願いします。



学費

入学対象	項目	入学金	授業料	施設維持費	小計	傷害保険料	協賛会 入会金	協賛会 年会費	同窓会 入会金	小計	合計
入学対象	本学卒業生	免除	800,000	100,000	900,000	4,950	-	20,000	-	24,950	924,950
	他大学卒業生	200,000	800,000	100,000	1,100,000	4,950	20,000	20,000	15,000	59,950	1,159,950
	3年制長期履修	200,000	534,000	67,000	801,000	6,150	20,000	20,000	15,000	61,150	862,150

※2024年度の参考金額です。 ※傷害保険料は、予定であり変更となる場合があります。

カリキュラム Curriculum

看護学研究科看護学専攻修士課程では、本学の建学の理念である「大乘仏教の精神に基づき、社会福祉の増進と教育とによる人間開発・社会開発に貢献する人材の育成」を教育の基本に据え、地域社会の人材需要や大学院進学希望者の進学需要を踏まえて、看護学分野における教育内容を絞り込んだ教育課程として編成しています。具体的には、看護学分野に関するより高度な専門的知識と応用的能力を獲得するとともに、看護学研究に必要な手法や能力を身につけることにより、看護の実践と研究の推進、人材育成を行いうる人材を養成します。

科目編成

「基礎科目」、「看護展開科目」、「看護管理科目」、「地域連携・協働科目」、「研究指導科目」の各科目群を設け、高度な専門性を有した人材として必要となる理論的知識と応用的能力を体系的に身につけることが可能となるよう教育課程を編成しています。また、自己の研究領域とその関連領域についても同時並行的に履修できるように編成しています。本学大学院総合福祉研究科社会福祉学専攻および心理学専攻修士課程に配置されている授業科目を、4単位まで課程履修要件の単位数に算入することができます。

基礎科目「保健医療福祉学特論」、「看護学研究特論」、「看護倫理学特論」の8単位を必修とし、その他体系的に課程を履修し、修了時に「看護学特別研究」8単位を含む、30単位以上を修得。所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格することにより、修士(看護学)の学位が授与されます。

授業科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
基礎科目	保健医療福祉学特論	1前	2	
	看護学研究特論	1通年	4	
	看護倫理学特論	1後	2	
	看護政策学特論(福祉医療政策特論)	1・2後		2
	看護教育学特論	1・2後		2
	ターミナルケア(看取りをめぐる諸問題)	1・2前		2
	臨床ケア論	1・2前		2
	病理病態学特論	1・2後		2
看護展開科目	基礎看護学特論	1前		2
	基礎看護学演習	1後		2
	小児看護学特論	1前		2
	小児看護学演習	1後		2
	母性看護学特論	1前		2
	母性看護学演習	1後		2
	成人看護学特論	1前		2
	緩和ケア特論	1前		2
	成人看護学演習	1後		2
	老年看護学特論	1前		2
老年看護学演習	1後		2	
看護管理科目	看護管理学特論	1前		2
	看護管理学演習	1後		2
地域連携・協働科目	精神看護学特論	1前		2
	地域看護学特論	1前		2
	地域・精神看護学演習	1後		2
	公衆衛生看護学特論	1前		2
	公衆衛生看護学演習	1後		2
研究指導科目	看護学特別研究	1・2通年	8	

一部変更になる場合があります。

基礎科目

看護学を発展させる基盤となる科目として、保健、医療、福祉にかかわる各専門職の連携・協働のあり方を検討する科目、看護研究に関する研究手法や研究能力を修得する科目、看護実践の場における倫理的判断や倫理的課題に介入できる能力を高める科目を必修とし、他を選択科目としています。

■保健医療福祉学特論	保健、医療、福祉にかかわる各専門職の連携・協働のあり方を検討する。
■看護学研究特論	研究者や教育者にも、指導的看護職者や看護管理者にも共通的に求められる看護研究に関する研究手法や研究能力を修得する。
■看護倫理学特論	看護現場における倫理的判断や倫理的課題に介入できる能力を高める。
■看護政策学特論(福祉医療政策特論)	看護政策をめぐる諸課題や政策決定過程を理解する。
■看護教育学特論	学生や看護師への看護教育及び患者や家族への指導に関する知識と能力を高める。
■ターミナルケア(看取りをめぐる諸問題)	終末期の患者に対して身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するための総合的な措置や看取りをめぐる諸問題についての理解を深める。
■臨床ケア論	理性と感性の関係、聴ける、見えるという援助者のケアの実践力を育てる。
■病理病態学特論	看護実践の質を高めるために必要となる病態に関するアセスメント力を高める。

看護展開科目

看護学における専門領域ごとに高度な専門的知識と応用的能力を身に付けるための「特論」と、各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究するための「演習」を選択科目として配置しています。

■基礎看護学特論	看護学の基本的かつ主要な概念や看護理論と看護実践に必要な基礎看護技術の展開や体系化に関する能力を高める。
■基礎看護学演習	
■小児看護学特論	小児看護、母性看護、成人看護及び老年看護に関する高度な専門的知識と応用的能力を身につける。
■母性看護学特論	
■成人看護学特論	
■緩和ケア特論	
■老年看護学特論	
■小児看護学演習	各看護援助に関する最新の知見や動向に関する知識を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究する。
■母性看護学演習	
■成人看護学演習	
■老年看護学演習	

看護管理科目

看護におけるマネジメントについての能力を高めるための「特論」および「演習」を選択科目として配置しています。

■看護管理学特論	看護専門職の役割と看護の質保証や看護師としての自律と協働、キャリア開発、チームアプローチ、人的資源管理など、看護におけるマネジメントについての能力を高める。
■看護管理学演習	

地域連携・協働科目

地域の保健・医療・福祉分野における多職種連携・協働に関する高度な専門的知識と応用的能力を身につけるための「特論」と、各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究するための「演習」を選択科目として配置しています。

■地域看護学特論	地域で生活する人々の健康の維持・増進を図るための専門的知識と応用的能力を身につける。
■精神看護学特論	
■公衆衛生看護学特論	
■地域・精神看護学演習	各看護援助に関する最新の知見や動向に関する理解を深め、看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究する。
■公衆衛生看護学演習	

研究指導科目

各自の看護に関する課題を見出し、自らの研究課題について科学的に探究する能力を養うための「看護学特別研究」を必修科目として配置しています。

■看護学特別研究	各自の看護に関する課題を見出し、自らの研究課題について科学的に探究する能力を養う。1年次後期より一貫した演習形式による研究指導を行い、研究成果を修士論文として完成させるまでのプロセスを指導する。
----------	---

科目等履修制度

科目等履修生を受け入れています。履修単位は年間4単位を上限とし本研究科の単位として認定します。2025年2月頃に開講科目を発表する予定です。

■科目等履修生の学費	入学金：10000円 授業料：15000円/1単位
------------	------------------------------